

我が国周辺水産資源調査・評価等推進事業のうち漁場形成・漁況予測事業

漁海況予報関連調査

久野 正博・岡田 誠・林 茂幸

目的

本県沿岸の漁況および海況の調査研究を行い、漁海況情報を迅速に漁業関係者に提供すると共に、その情報を解析して漁海況予報を行い、漁業資源の合理的利用と漁業操業の効率化を図り、漁業経営の安定化に資する。

方法

熊野灘 19 測点および伊勢湾 16 測点において、毎月 1 回の海況調査を調査船「あさま」で行った。漁況は主要漁業協同組合から統計資料の入手および電話による聞き取りによって収集した。収集した漁況・海況データは取りまとめて、漁海況情報としてホームページ等で情報提供した。

結果の概要

詳細については平成 29 年度漁況海況予報関係事業結果報告書（漁海況データ集）で報告したので、以下は概要を記す。なお、漁況については「資源評価調査」で報告した。

1. 黒潮流路

黒潮流路は、4 月は C 型、5 月に D 型へ移行した。6 月は B 型+D 型の W 字状から下旬に D 型蛇行が解消し B 型となった。6 月末には C 型へ移行し、7 月は規模の大きな C 型となった。8 月に W 字状を経て、8 月下旬に黒潮は大蛇行流路となった。9 月は A 型（典型的）で経過し、10 月末から 11 月前半は八丈島を迂回する非典型的 A 型となったが、11 月後半以降は伊豆諸島域を北上する A 型（典型的）に戻った。12 月中旬と 2 月中旬に八丈島を迂回する非典型的 A 型となる期間があったものの、3 月まで A 型が継続した。

2. 熊野灘の海況

熊野灘沿岸の水温（図 1）は、6 月まで平年並～やや低め基調で経過した。7 月に熊野灘の低水温傾向は解消し、平年並～高め基調となった。9 月は黒潮大蛇行に伴って黒潮系暖水が熊野灘に強く流入し、20m～200m を中心に高水温・高塩分が顕著となった。10 月には極端な高水温は解消したものの、黒潮内側反流の影響で、11 月につ

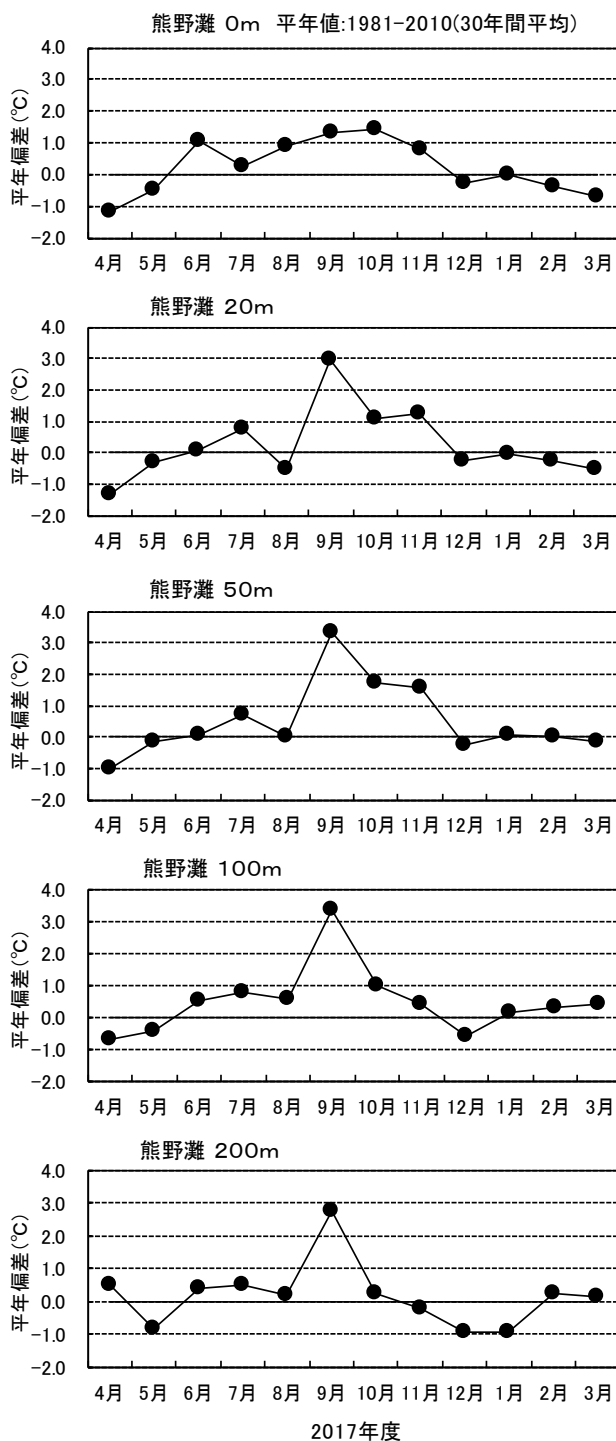


図 1. 熊野灘沿岸定線観測における 17 測点平均水温の年々偏差

て高水温傾向が継続した。12月以降は黒潮内側反流の影響が弱まり、熊野灘の水温は平年並基調となった。冬季は気温が低めで経過したものの、黒潮から切離した小暖水渦が熊野灘を次々と通過したことから、低水温が顕著になることはなかった。

浜島の定地水温は、4月はほぼ平年並、5月は中旬まで平年並～やや高め、5月下旬から6月初めは平年より高め～かなり高め、その後6月下旬まで平年並～やや低めで経過した。7月は平年より高め、8月は平年並～高め、9月は中旬までほぼ平年並、9月下旬～10月中旬は平年並～やや高めであった。10月下旬は台風の影響で一時的にかなり低めとなったが、その後11月中旬まで平年並～やや高め、11月下旬は平年並～やや低め、12月は平年並～やや高めで経過した。1月以降は、1月中旬と2月上旬に平年より高めとなった日もあったが、概ね平年並で経過した。2月末から3月は、平年より高めとなった。

3. 伊勢湾の海況

伊勢湾の水温は、4月は平年よりやや低め、5月と6月は平年並～やや低め、7月は平年並～高め、8月はやや高め～高めであった。9月は平年並～やや高め、9月は平年並～やや低め、10月は平年並～やや高め、11月は平年並～かなり高め、12月は平年より高めであった。1月は平年並～やや低め、2月は平年並～やや高め、3月はやや高め～高めで経過した。

伊勢湾の塩分は、4月は底層で平年並の他は高め～やや高め、5月は平年並～やや高め、6月と7月は表層でかなり高めの他は平年並～やや高め、8月は表層で低めの

他は平年並であった。9月は表層でかなり高めの他はやや高め、10月は平年並～やや高め、11月は表層でかなり低めの他はやや低め～低め、12月は平年並～やや低めであった。1月は平年並、2月は平年並～やや高め、3月は表層でかなり低めの他は平年並であった。

伊勢湾内の底層における貧酸素水塊の分布については、5月19日の調査時に湾中央部で2ppm台の低酸素の分布が確認され、6月5日の調査時には湾奥部から湾中央部に2ppm以下の貧酸素水塊が形成されていた。7月10日には1ppm以下の貧酸素水塊が湾中央部で東西に広く分布していた。1ppm以下の貧酸素水塊は7月から10月に観測され、2ppm以下の貧酸素水塊は11月2日の調査時にも観測された。

白子の定地水温は、4月から5月上旬はほぼ平年並、5月中旬は平年並～高め、5月下旬は平年より高め～かなり高め、6月は平年並～低めであった。7月は高め～かなり高め、8月は中旬に一時的に低めとなった他は平年並～高めで経過した。9月上旬は平年より低め、9月中旬～10月前半はほぼ平年並、10月後半は平年より低め、11月～12月上旬はほぼ平年並であった。12月中旬から2月中旬は平年並～1℃程度低め、2月下旬は平年並、3月上旬は平年並～高め、3月中旬以降は平年並～かなり高めで経過した。

関連報文

三重県(2018)：平成29年度漁況海況予報関係事業結果報告書(漁海況データ集)